

## 平成25年度第3回企業倫理委員会 議事概要

1. 日 時 平成25年12月6日(金) 10:00～11:50

2. 場 所 中国電力株式会社 本社1号館12階特別会議室

3. 出席者

(委員長)	山下 隆	会長
(副委員長)	馬場 則行	弁護士
(副委員長・幹事)	松村 秀雄	常務取締役(コンプライアンス推進部門長)
(委員)	今中 亘	中国新聞社 特別顧問
	磯村 定夫	中国地域ニュービジネス協議会 常任顧問
	荻田 知英	社長
	白築 透	中国電力労働組合執行委員長
(オブザーバー)	岩崎 恭久	常任監査役
(説明者)	吉安 正樹	コンプライアンス推進部門マネージャー(コンプライアンス担当) 兼. 原子力強化プロジェクト専任課長

4. 議事要旨

### 【委員長あいさつ】

島根原子力発電所に関する取り組みについて、当社は先月、原子力規制委員会への安全審査の申請に向けた安全対策に関する「事前了解願い」を島根県・松江市へ提出するとともに、関係自治体に対して申請概要を報告した。当社としては、引き続き、申請内容についてご理解いただけるよう、自治体・議会のご要望にはしっかりと対応し、丁寧に説明を行ってまいります。また、申請書で計画している安全対策を早期にかつ確実に実施していくことはもちろん、新たな知見にも適切に対応し、発電所の安全性をより一層向上させてまいります。

続いて、コンプライアンス推進に向けた取り組みについては、今年で7回目となる強調月間において、種々の施策を集中的に実施したところである。これまでの取り組みにより、社員のコンプライアンス意識は浸透しつつあるが、これから事業環境が大きく変化していく中で、社員一人ひとりがどれだけ実際の行動に移していけるかが重要な課題であり、これが実践できれば、当社にとって「大きな強み」になるものと考えている。また、グループ全体のガバナンス強化も大きな課題のひとつであり、今後は、グループ全体のコンプライアンス推進体制の強化等、効果的な取り組みを順次実施してまいります。

## 【1. コンプライアンス推進の取り組み状況について】

島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況、コンプライアンス推進施策の主な実施内容について説明した後、議論を行った。

### <主な意見>

#### 〔島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況について〕

- 島根原子力発電所点検不備への対応は、不適合判定検討会も定着し、適切に行われているが、今回、不適合Bグレード事象が5件と比較的多く発生している。B・Cグレードとも、より上位のグレードへつながる可能性もあるため、大きな事案に発展することのないよう、気を緩めることなく、引き続き、不適合管理プロセスの改善に取り組んでもらいたい。
- Bグレード事象の中には、わずかな注意を払うことで防げたと思われる件名が見受けられる。職場コミュニケーションの充実や業務の平準化を図るなど、個々人の注意が行き届くよう、適切な業務運営をお願いしたい。

#### 〔コンプライアンス推進施策の主な実施内容について〕

- 今年度の「職場実態・社員意識調査」で評価値が低下しているのは、会社を取り巻く厳しい環境を踏まえると致し方ない面はあるが、改善に向けては「社員の不安払拭」が重要であり、役員が事業所訪問において前向きなメッセージを発信するとともに、改善のためのレールを敷いていくことを期待する。
- グループ全体のコンプライアンス意識の浸透に向け、一層の情報共有化を図るとともに、親会社として指導・チェックを強化する必要がある。

## 【2. 内部通報制度の運用状況について】

平成25年8月～10月における内部通報制度の運用状況について説明した後、議論を行った。

### <主な意見>

- 通報件数は増加し、全てが顕名で行われ、どの案件も迅速に対応されており、内部通報制度は適切に運営されていると考える。

以 上

(添付資料)

資 料 「コンプライアンス推進の取り組み状況について」